

資本財・サービスセクターの成長に期待

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
愛称 ザ・ディスカバリー
追加型投信/内外/株式

- ▶ 平素は「岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
- ▶ 本レポートでは、当ファンドの実質的な主要投資対象である米国を中心とした中型株の足元の状況と、今後成長が期待される資本財・サービスセクターについて紹介いたします。

これまでの株式市場の振り返り

過去20年の米国中型株

過去、20年を振り返ると、リーマンショック等の流動性危機の局面も含む前半の約10年間において、中型株は大型株と比べ優れたリターンとなりました。その後緩和的な金融環境が概ね常態化する中で、2020年に発生した新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに米国では大規模な金融緩和が始まり、成長期待の高い大型テクノロジー株を中心に株価が上昇し、大型株優位の展開となりました。2023年も、インフレ圧力及び利上げペース緩和への期待や、生成AIをはじめとした先進技術への期待などから、大型株は堅調に推移しています。(図表1)

図表1 米国の大型株と中型株の相対株価(過去20年間)

(期間 2003年11月～2023年11月、月次、配当込み)

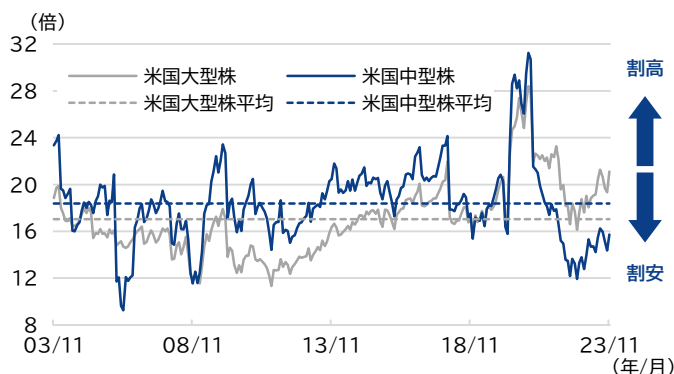


中型株のバリュエーションは魅力的な水準に

バリュエーションは、生成AI等の台頭により関連技術や製品に対する需要の増加が期待される中、テクノロジー企業を多く含む米国の大型株は利益の成長以上に株価が上昇しており、期間平均を上回って推移しています。一方、米国中型株は、長期で大型株よりも優れた利益成長を遂げており、今後米国を中心とした景気の循環的な回復により業績成長が期待される中においても、そのバリュエーションは過去20年の平均を下回っており、魅力的な水準となっています。(図表2)

図表2 米国の大型株と中型株の株価収益率(PER)の推移

(期間 2003年11月～2023年11月、月次)



※平均は、グラフ作成期間の平均

※米国大型株はS&P500種、米国中型株はS&P中型株400種を使用。

(図表1～2の出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

一本資料に関してご留意いただきたい事項

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

資本財・サービスセクターには業績成長が期待される企業が多く存在

着実な業績成長を継続する資本財・サービスセクター

米国中型株の約20%を占める資本財・サービスセクターには堅実なビジネスを行い着実な業績成長を続ける企業が多く含まれています。過去5年間で、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの感染拡大により、先行き不透明感が強まった場面もありましたが、米国中型株や米国大型株を上回る利益成長を遂げています(図表3)。足元では利上げ終了の観測が強まっており、米国における消費の回復やサプライチェーンの正常化が進み、同セクターの更なる成長が期待されます。

当面の市場見通し、運用方針

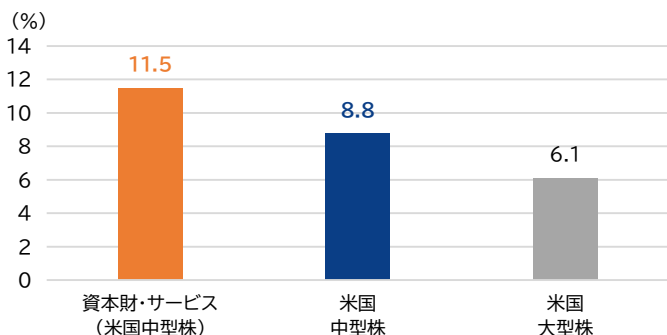
足元では、地政学的な不安が続く中、中国の経済再開は遅れを見せていることに加えて、インフレ圧力は緩和的になりつつあるものの高止まり傾向にあります。一方、米国の消費は回復を見せており、サプライチェーンも正常化しつつあります。

また、ヘルスケアとテクノロジー分野では初期段階であるものの構造的なイノベーションが見られました。例えば、ヘルスケア分野においては、米国を中心に市場の拡大が見込まれる糖尿病及び肥満の治療薬が、米国で承認が下りたため、今後の治療薬の普及に注目が集まっています。また、テクノロジー分野においてはChat-GPT等の生成AIが台頭しており、関連技術や製品だけでなく幅広い業界に影響が波及し、構造的な成長力の原動力になることが期待されています。

足元のような環境では特にバリュエーションやキャッシュフロー創出力に注目する必要がありますが、情報技術のようにバリュエーションが相対的に高いセクターの中にも投資妙味の高い銘柄が含まれており、ボトム・アップの企業調査による選別が重要と考えています。引き続き、徹底した企業調査を行い、市場の見誤りに気付き、確信を持てる優れた企業に投資することで、長期的な運用成果を目指す方針です。

図表3 1株当たり利益(EPS)の過去5年成長率(年率)の比較

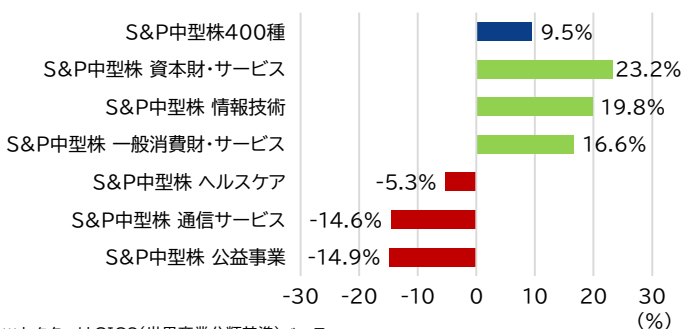
(算出期間 2018年11月~2023年11月)



※ 資本財・サービスセクター(米国中型株)はS&P中型株資本財・サービス指数、米国中型株はS&P中型株400種、米国大型株はS&P500種を使用。

図表4 S&P中型株400種指数のセクター別リターン上位下位3セクター

(期間 2022年12月30日~2023年12月7日、配当込み)



※ セクターはGICS(世界産業分類基準)ベース
※ 小数点以下第2位を四捨五入

(図表3~4の出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表5 当ファンドの業種別組入比率

(2023年10月31日時点)

業種	比率
1 資本財・サービス	22.8%
2 金融	16.0%
3 一般消費財・サービス	11.4%
4 エネルギー	9.3%
5 ヘルスケア	6.8%
6 素材	6.7%
7 情報技術	6.5%
8 生活必需品	5.8%
9 公益事業	5.4%
10 不動産	4.8%

※ 各比率は、「フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド」の純資産総額に対する比率です。
※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(出所)フィデリティ投資株式会社のデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

一本資料に関してご留意いただきたい事項

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

注目銘柄のご紹介

パーティブ・ホールディングス (米国：資本財・サービスセクター)

企業概要

データセンター等向けに、膨大なデータを処理する際に発生する熱の冷却部品や電力消費の効率化に資するインフラ設備の導入をサポートしています。同社は50年以上にわたり、130以上の国・地域で部品の製造・販売やサービスを提供しています。

投資のポイント

当ファンドではAIの普及に欠かせない、データセンター向けサービスを開発している企業に着目しています。

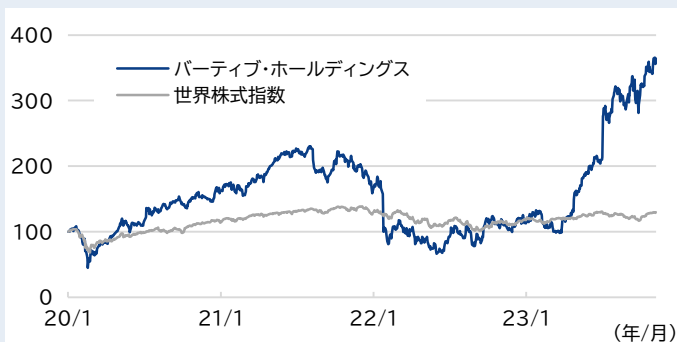
昨今の生成AIの台頭などにより、膨大なデータを処理するための高性能な部品や設備に対する需要が高まっています。今後も、AIのさらなる普及が後押し、データ処理量が増加すると見込まれることから、データセンターの需要が高まると予想されます。同社の技術や製品は、生成AIの普及等で副次的に発生する課題の解決に向けて大きな役割を果たすことが期待され、今後さらなる業績成長によって株価の上昇余地は大きいと見ています。



※上記はイメージ図です。

図表6 同社のコロナ禍以降の株価推移

(期間 2020年1月31日～2023年12月7日、日次)

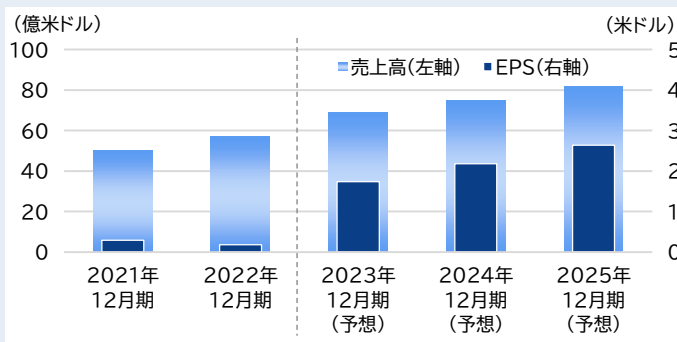


※2020年1月31日を100として指数化

※世界株式指数はMSCIワールド指数を使用。MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

図表7 同社の売上高、EPSの推移

(期間 2021年～2025年、年次、予想を含む)



* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

(図表6～7の出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

一本資料に関してご留意いただきたい事項

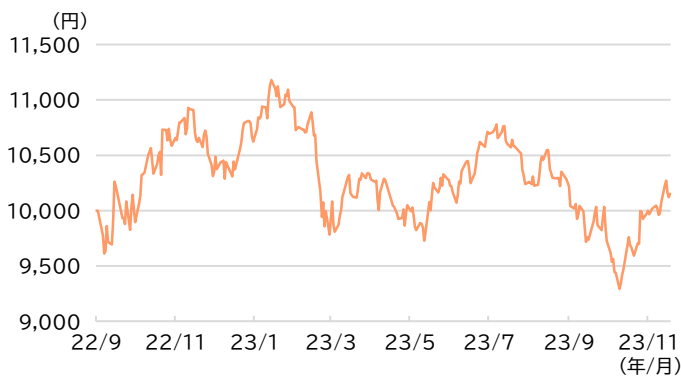
■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

運用状況（作成基準日 2023年12月8日）

<為替ヘッジあり>

基準価額の推移

（2022年9月21日～2023年12月8日、日次）



ファンドデータ

基準価額	10,152円
残存元本	2,171百万口
純資産総額	2,204百万円

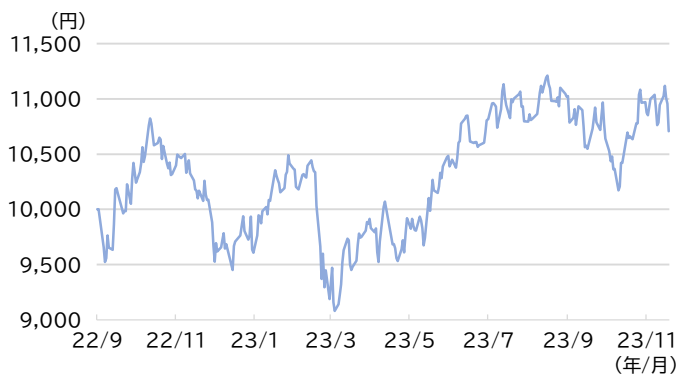
ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	98.2%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	1.6%

<為替ヘッジなし>

基準価額の推移

（2022年9月21日～2023年12月8日、日次）



ファンドデータ

基準価額	10,709円
残存元本	9,715百万口
純資産総額	10,404百万円

ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	98.0%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	1.8%

※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

一本資料に関してご留意いただきたい事項

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、その他の変動要因としては、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料 : ありません。
 - 信託財産留保額 : ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用(信託報酬)
 - : 純資産総額×年率1.265%(税抜1.15%)
 - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
 - : 純資産総額×年率1.98%(税抜1.80%)程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
 - なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料
 - 監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
愛称 ザ・ディスカバリー
追加型投信/内外/株式

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)